

風地蔵新聞

ちよつと俳句

打ち水で
蝉なし庭が
涼しげに
しょうぎのおぢさん

きれいだな
しぜんがいつぱい
おおがきは
小3 梶山誠也

夏のちよつと

とまってくれよと
だだこねる
無記名
葉が落ちた
気づけばもう秋
早いなあ

肌寒い
あつい夏は
どこいった
無記名
加藤りん

夏と冬

あつというまに
おわります
無記名

ぜんざいと
パンと紅茶と
コーヒーと
無記名
ちよつと短歌
ひべらしも

第96号
発行 編集
風地蔵
田中 美帆
〒503-0922
岐阜県大垣市
馬場町85

ヤフーブログ
毎日更新中
風地蔵徒然日記
<http://blogs.yahoo.co.jp/rioon5230>

戸惑う夏の

終わりがかな
青い月

思わすれ
我かわいさに
捨ててきた
田毎の月を
振り返りみる
青い月

風地蔵
庭のカエルも
楽しげに誘う指先

春を誘いて

けいこ婆

駅前に
広がる緑の
芝生より
おかれた雪の
味のとりこに
ぺいん

木漏れ日、新緑、風
今日は良い日だな
今日も体いっぱい
生きている
無記名



あまでうすです

今年も東京に嫁いだアラフィーの友達が、実家である一宮に帰って来た。

そして何時も一宮でモーニングをするのが恒例となっている。

一宮と云えば毎年『モーワン・グランプリ』が開催される事で識られている。

去年は、グランプリを取ったカフェに入ったが、今回は部門賞を取ったカフェで一刻ほど積もる四方山話をし乍らモーニングをして帰って来た。いつもだと鯖江に嫁

いだアラフォーの友達が一宮に帰って来るが、メール連絡があり両親の体調が良くない為、今年は実家に帰る事は出来な

いから、落ち着いたらメールをする。と云う内容だった。

もう一人、またぞろ一宮に嫁いだアラサーの友達と木曾川キリオでランチをするのが慣習となっている。

彼女には年少と年長の幼稚園女児がいる。

上の子はもう慣れていてよく喋りよく懐いているが、下の子は前までは中中懐かなかった。

く様になつてから吃驚するほど違っていたのである。

上の子の時も幼稚園に入ってからガラリと変わったのを覚えている。

ランチをした後は、いつも二階の珈琲店でアイスクリームを食ベ珈琲を飲むが、この後が大変であった。

「木のぼり」と言つては自分の足に何度も登つて来るし、抱き上げて高い高いをしてやると喜んで何度も催促する。

次は「かくれんぼ」と言つて、「さいしょはグー」と言い乍らじゃんけんをすればチョコキを出して、サツ

サと隠れてしまつた。隠れたら「もういいかい」とか言っている。(それオレの台詞だよなあ どうもルールが確りと判つてないらしい)と思

いつつ「もういいかい」と返事をしてやると「もういいよ」と声が返つて来る。(まるで金子みすゞの世界だ)それが終ると、

今度は折り紙で遊ぶ。

隣りで夢中になつて折つてるので「何を折つてるんだ」と訊くと「ひこうき」と言っているが、どう見てもひこうきには成らない。

そのうちに「ふねだ

よ」と折り方を変えたらしいが、試行錯誤している。

最後には「ひこうき折つて」と言われ、折つて渡すと飛ばして遊んでいる。

遊び疲れると「眠い」と膝の上に乗ってきてそのまま眠つてしまふ。

こどもは、大人とは別の次元で生きているのだと、今更乍ら感じる。



自然災害

原 由里子

2011年10月3日

ことしの3月11日から始まった気がします。私はこの日、お店にいました。学生さんが春休みに入っていたこともあり、午前中からカフェにお客様が入り、忙しかったことを覚えていてます。

この日はいつも昼から出勤してくる大橋さんが、お店のメニューにあるぜんざい、あんこもち、きなこもちに使った餅がなくなってきたので、午前9時にみんなで餅をついて丸めていました。

私も店長も二人とも、エステが入っていて、しかもポディーでお客様につきっきりで本気で集中するお手入れです。午後になって餅をついて丸めていました。

午後からは手が空き、お客様も帰ってカフェにお客様がいない状態でした。

その時、3人はバラバラの場所にいました。店長はエステルーム、大橋さんはトイレ、私は洗濯機の前にいました。

地震が起きた時、完全な横揺れで最初は目眩だと思い、気分が悪くなったのを覚えていてます。

店長は、「地震やよ」と言い、冷静になったら店が揺れていて、急に怖さに変わりました。

家にいた母は、全く地震に気づかないで、「変な感じはした。」

と言っていました。しかし、家に帰ってテレビを見るまではもつと恐ろしい事になっていくなんて思ってもいなくてです。阪神淡路大震災の時はじめて地震雲があることを知りました。まっすぐ走っている長い雲が地震雲だと知りませんでした。

えないうちに、台風12号がやってきました。母が昔から、「二百十日の九月一日に来る台風は大きい」と聞かされてきました。伊勢湾台風が来た日、九月一日で、毎年この日は防災の日になっています。

母がまだ鹿児島にいた時に、本当はその台風は九州に来る予定だったそうです。

しかし進路変更をして伊勢の方に行ったそうです。

12号の台風は、九月一日に日本にかかっていました。

三重県・奈良県・和歌山県に多大なる被害が出ました。

まるで地震の後のような所もあります。

そして、今回の台風一五号、一六号です。

最初は日本に來ないと言われてましたが直撃しそうです。場所によっては土砂崩れの恐れ、災害が起きるかもという緊迫した状態です。

実は前はよくお店の前で蜂をよく見かけて、「怖いな」と思っていた蜂が、最近あまり見かけなくなりましした。動物や虫には特殊な

3月11日の2、3日前に、地震雲が出ていました。その日はとにかくお月さまがきれいでした。そのお月さまを囲うように、とにかく真つすぐに曲がることも乱れることもなく、太く真つすぐとした長い雲が横、縦、斜めに走っていました。人によっては、飛行

力があるのか、巣を守るために低いところに巣をつくって壊さないようにすると聞きます。この世の中で、いちばん鈍感な生き物かもしれない人間。その人間が地球で一番えらぶっていたり、傷つけている生き物です。

せめて、これからの地球とつまく付き合っていくにはどうしていかばいいかを真剣に考えて行動していかないとはいけません。



新しい先生

鎌澤 宣子

太鼓の教室に新しい先生が今来てくださっています。小川凛花先生といって、若くてかっこいい(女性)先生です。小川先生の愛弟子で、

機雲という人もいますが、すぐに地震雲だと気づきました。キレイというより今までにない雲の走り方をしています。私にはとにかく、不気味でとても怖い雲にしか見えませんでした。

そして2、3日後に地震が来ました。そして自身の傷が癒小学校のころから教えていらつしやうた方です。プロの太鼓集団にも入っていました。津軽三味線、篠笛にも精通しています。太鼓の練習の時にも篠笛を吹いてくださるのですが、その笛の音に合わせて、太鼓をたたいていると、上手になった気になるのです。

太鼓も一緒にみんなの中に入ってたいたいののですが、とても切れがよく、ともかくかっこいいという言葉しか出てこないんです。

私が太鼓に出逢って、いかはやってみたいと、ああいうふうになたけたらいいなと憧れて、わたしが太鼓をするきうかけになった方です。

また、今年のお正月、ここで太鼓の演奏を一緒にして下さった堂本さん親子も、今一緒にしています。この親子さんもしばらく三城の方には来てらつしやいませんでしたが、この方たちもとてもうまく動きに切れがあり、

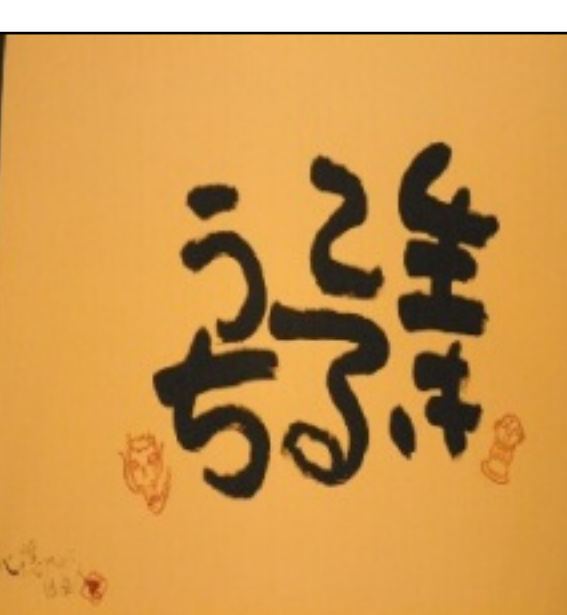
見ているとひきつけられます。この間、寝ていてムカデに頭を刺されて顔半分腫れてしまっていて、病院で注射を打ってもらってから練習に行つたのですが、前半は動きもできて、息切れするくらいで、休憩をはさんでほてりがひどくなってきたので、練習を見ていたので

三人の動きに目がいつてしまします。特に凛花先生の動きは、女だけど男らしく切れがあり、一つ一つのメリハリと流れがあつてきれいです。無駄がない動き、それと音が違います。さすがプロの集団の中で長年やつてこられただけあつて違うなと思いますし、またその方に教えてもらえるのつてすごい恵まれてるなと、幸せだなと、早く少しでも近づけたらいいなと思います。

もちろんとてもとても足元に及ばないのはわかつていますが、少しでも近づけばと新たな目標ができました。

篠笛も時には力強く、時には優しく、また励ますような音色だったり、つつい練習

習しているんだけど、ずっと笛の音だけを聞いていたいと思つてしまつて、太鼓をたたくのを忘れそうになつたりとしています。



小川先生も生き生きして、私達も気持ち前にといいう感じで、その場所が一つの舞台のような雰囲気にも包まれてみんな「ハアハア」と息は荒くなつてくるのですが、誰一人動きを止めない、まだまだ動けるよ。という感じで、自分だけではなくて全体の動きをみれるそんな感じで練習で一つになるのが伝わってきて、いつもより動いている感じでした。

もつともつと練習をして、いいものが出てきて、一人でも多くの方に太鼓を聞いて観て、やつてみたいと思つてもらえるようになりたいです。仲間が増えると嬉しいです。

来年打弾があるかどうかかわらないけれど、あると思つて練習して、今年よりもいい舞台ができるようにしたいです。

ちよつと立ち話

毎回読んでますよ。体験談とか書かれてるんで。皆さん話してるイメージと違ってますね。(エステのYさん)

Iさん) 産婦人科のはなし、帰りに読んでいて、一人で怒っていました。泣けてきました。こんな医者いるの？と怒れてきて仕方なかったです。(エステのIさん)

原先生のは、ロイド氏や奥田さんのやり取りをすごく思い出しました。大橋さんのは読んでて暖かくなるほどのよい家族だっと思えました。新婚記は電話でも話を聞いていたので、またひとりで大笑いしました。奥田さんのは私の息子も1年空手をしていたので情景を思い描き、熱くなってる奥田さんを想像して笑顔になりました。アマデウスさんは知識と造詣が深いと思います。ひさしぶりにリーちゃんの声が聞けて元気にしてるのがわかって、いろんな心の葛藤があると思うけど、いつかリーちゃんの力になると

思うので、いっぱい悩んで失敗もして、一緒に頑張ろうね。(宣子)

店長はいつもお店の事、お客様の事、私達の事はかり考え遣っていただけてます。ほつと気の休まるどころ、休まる仲間は大鼓の方々と一緒の時間です。久しぶりの太鼓のたのしかった様子がよく伝わります。私がお店に出勤したときにはもう玄関先にぎわってました。風地蔵にお世話になってこのような石積みパフォーマンスは初めてで、この日とても暑く、その中で奥田先生、リックさん本当にありがとうございました。今風地蔵はたくさんのお会いがある場所です。原先生同様私もうれしく思います。オーナーはお嫁に来て初めての経験で、不安だった気持ちよくわかりますが、少々わがままでした。オーナーのブログや風地蔵新聞を読ま

せていただいていると、たかおさんは大人でオーナーは子ども・・・？ですけどいい夫婦ですね。ニンジン作戦・・・よく親は子どもにしますよね。私も子どものおかげでたくさん経験をさせていただきました。本当に子どもに感謝です。(美紀)

社長が結婚して、九州に行かれ、家庭や義母の入院などで、すごいバタバタ日々を過ごして、誰よりも頼られる店長だなど思います。何でも自分で抱え込んでしまうのはわかる気がします。やっと大好きな太鼓に行き、仲間を感じられた事で、家以外の自分の居場所があるとこの事は素敵な事です。何でも感動してもらえて嬉しそうです。周りも嬉しくさせる存在になっていいですね。16年前に1年半だけ空手をやっていました。弱かったけど楽しかった時を思い出して、またやりたいと思いましたが社長の新婚記・・・朝礼で電話越しに新聞に書いてあることは前もって先に知ります。社長がんばれ!!!

私もレンプラントは見に行きました。版画は細いし、すごいですがやっぱり油絵に目がいきます。黒白だけで光を感じ、色までも感じられるのはすごいパワーです。(由里子)

原先生が、あのおまでうすさんと内容が張れた!!!という事が誇らしいです!大橋さんのばあちゃんの記事は泣けます!特にばあちゃんを負つところは昔のあたしとダブリます。だいじなことを思い出しました。

ガンバリ屋さんの店長が悪戦苦闘しているのと、リーちゃんの姿がよくダブリます。目の前の事に一生懸命で、見えなくなったり、そうかと思えば、スカツと冷静に視野が広がって、人一倍相手を思いやられたり、いい時悪い時の形がそっくりだったります。毎朝の電話の様子や、大橋さんや原先生から常にスタッフの事を考えてると聞くと、わたしがいなくなつた後の大きな成長は福岡までも届いています。今、大橋さんや原先生が、いちばんに店長の事を感謝しながら話されることで、互いにどれだけの気遣いができてるかがうかがい知れます。800キロ離れたところから、不安は尽きませんが、3人であーでもない、こーでもない力を合わせてやってる様子、そこへ、奥田さんや森先生、エステのお客様、ご近所の方が、応援して下さい。風地蔵が地域に根付いてきたなつて、離れて思いますが、感謝・助けあい・恩でもっとも人間を高めたいって下さい。楽しみにしています。(みほ)

前回はわりおんちゃん福岡に来た時のすよねいきなり7人の親になったのすよね。あれを見ていて子どもって成長しますよね。(エステのM先生)

もうたった一人になつた私のばあちゃんです。昔話もまだたくさん聞きたい話したい。父が亡くなって私は強く思っています。生きてる間にしか話できません。ばあちゃん、いっぱいこれから話そうね。「又来るからね」と実家をあとにしました。

祖母を思う

大橋 美紀

私には94才の祖母がいます。敬老の日に祖母がいる実家へと向かった。祖母は元氣そうな顔で、私の姿を見ると「やっとかめなあ」との祖母からの言葉

に祖父が吊ってくれ、その中に蚊が入らないように、少しだけまくりあげさつとはいる。その蚊帳の中で寝ることが幼い子供にとても夜が待ち遠しくそして冬は湯たんぽに火鉢。保育園から帰るとじいちゃんが火鉢で干し芋を焼いて、わたしが帰ると「食べる」と言葉少ないじいちゃんがそつと私に渡し、じいちゃんはパイプのたばこを吸っていた。祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。祖母の娘(私の叔母)東京に嫁いでいたのですが、何度も叔母のところへ事があるたびに一緒に東京に行っていたので

その話は5歳だった私も覚えてる。祖母には本当にたくさん思い出と恩があります。祖父は23年前に他界しましたが、祖母は今病氣という病氣もないし、もちろん自分の事は自分でできる。5年前までは自転車に乗って、どこへでも行ってました。そして耳もよく聴こえるし、日頃は畑もし、お参りに出かけたり、本が好きなのでよく縁側で日向ぼっこをしながら読んでいます。

いとこを思う母の顔で涙を流して、「子が先に逝くのは本当につらい」「長生きしている私にとって一番残酷」と何度も言っていた。祖母は自分の産んだ子は一人も死なせることなく、育ててきたから、はじめて子どもとの別れを経験したので。でも私は1日でも長く祖母には長生きしてもらいたい。

もうたった一人になつた私のばあちゃんです。昔話もまだたくさん聞きたい話したい。父が亡くなって私は強く思っています。生きてる間にしか話できません。ばあちゃん、いっぱいこれから話そうね。「又来るからね」と実家をあとにしました。

どこに行くにも小さい頃は祖母と一緒

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

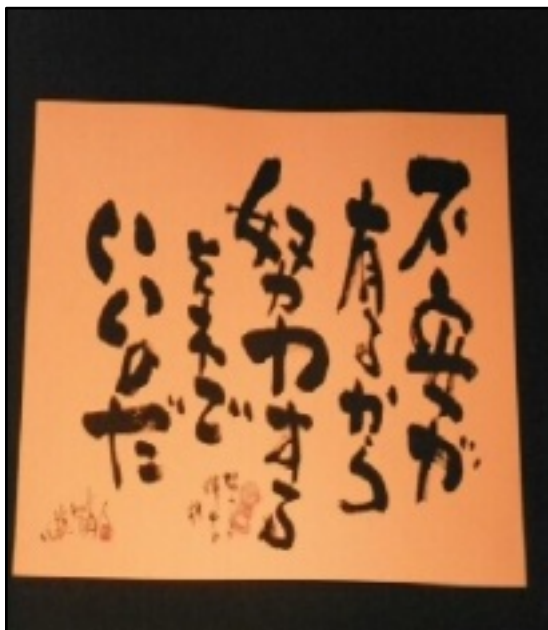
祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。

祖母が今でも私によく何度も話す昔話がある。



あーこの匂い！ふる里小川のあのところの部屋に窓をあけた。空気がとりの入る。すすると、なつかしい匂いが風と一緒に迷い込んできました。

た。い。が。な。ま。空。窓。寒。も。パ。蔵。て。ダ。あ。9。し。新。婚。記

あさ、5:46
9月28日
しらいしみほ

新婚記

はじめてのキャンプ

夏休み最後の日。はじめてのキャンプ。
自分自身テントでお泊りははじめての経験。
急に思い立ってヒマラヤでテントを衝動買い。

練習の為一度庭で貼ってみる。いつものことながら説明書とか見ないので
上手くいかないが、まあ何とかなるだろう、が甘かった。

ネットで検索して素人にも親切そうで、清潔で、一番人気の三重県の青川峡のオートキャンプ場へ。
やっぱり夏休みは一日も空いていない。唯一空いていた8月30日にやっと予約。
普通夏休み最後の前日はキャンプなんかしないのか？宿題しないとイケないもんね。

専門の道具はもちろん何も持っていない。
20年前のバーベキューセット(かなり錆びている)、ランタンの代わりに
仕事で使っている投光機。他のテントは「暖色系」の光なのに、うちだけ「蛍光色」で笑える。
タープも仕事用。結構セメントで汚い・・・

何とか苦戦しながらもテントは貼れた。
夕飯は定番のカレーライスと焼肉。
何となくキャンプはウイスキーかな？と思い飲みすぎでおなかを壊す。

はじめてなのに夜寝るときに雨が降り出す。
閉め切りで暑いし、うるさいし、おなかは痛いけどトイレに行けないし・・・
強引に寝て、雨が止んだ4時に起きて静かなトイレに。
7時まで5回は通う。

朝飯は昨日のカレーとナン。はじめてにしては上手に焼けた。

清流での川遊び、初めてのテントでお泊り。子供たちも楽しそうでよかった。
毎年8月30日31日を奥田家ではキャンプの日としたい。

庭師 奥田良樹

昔の古き良き時代の出来事は少なくなるとはいえ、この前の日曜日、だ〜りん市の地盤の大野城が、ありました。福岡のこのあたりに、地域の祭りも盛んで、各地区センターごとに、夏祭りだつてあちこちでやってました。驚いたことは、その祭りに、地域の老弱男女とくに、どこへ隠れてしまったのか、今時見かけなくなつた、小学生や中学生

までもが、地元祭りにいっばい来ていて、どの町もそう、です。ごい！と思ひました。大文字まつりには、初めて行ったダ〜リンの感想も「けつこうよかつた。」でした。だつて、さつさと歩けないくらい、すれ違う人！人から声がかかると、お！しらいしじゃないか！「そのたびに、す。あ、嫁さんで嫁さん！これ、地域の人が、紹介して回ることに

とになりました。同僚の家族もきて、て、いっしょに町のまつりの屋台でビールを飲みながら、会社の事やらを話す様子は、あ〜ここが、ホームグラウンドなんだなあ〜と、新鮮な感じがしました。これから自分の世界を作り上げるおんは、どんな将来を築きあげるんだらう。あなは、まっすぐな子で、思いやりもあって、いや〜もあって、時には羽目をは

勉強以外は抜群です！！おかあさんを超越するくらいに幸せになつてほしい。まずは、目の前の進路で悩むあなた。いっぱい悩んで、自分に会う、生きていく道を見つけてください。保育園の卒園式のよう、今度



落ちぶれるかは自分次第です。努力なくして、明るくはならない。今まで通り、前へ前へのど根性で、がんばつてれば、必ず道は開けます！楽は悪。がんばれ！りおん。